

04 商品開発・販売

基本情報



【年 齢】
55歳
【出身地】
東京都台東区
【転出元】
東京都新宿区
【前 職】
会社員
【活動時期】
R 6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

地域社会への貢献と人とのつながりを大切にし、震災や原発事故にまつわる誤解を解消し、今までの自分の経験を活かし笑顔を取り戻すために猪苗代町に貢献したいと考え応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

任期後は猪苗代町に永住し、ふるさと納税拡充を通して繋がった地域の人たちと猪苗代町を訪れる人たちが笑顔になれる飲食系の事業を行いたいと考えています。

活動内容

●ふるさと納税サイト充実支援

ふるさと納税サイトで猪苗代町をもっと知ってもらい寄附者へわかりやすく伝えるため寄附の使い道のイメージ画像を追加し返礼品の特集ページや各返礼品の詳細ページの作成を行っている。



●ふるさと納税返礼品開拓

猪苗代町商工会をはじめ地域の方たちの協力をいただき新規事業者の開拓により特産品を提供いただくよう働きかけ、10月現在で新規事業者18事業者返礼品120アイテムに拡充いたしました。今後も返礼品拡充を継続して参ります。



●ふるさと納税事業拡充支援

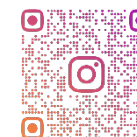
東京猪苗代町民会総会や東京都豊島区イケ・サンパークでのファーマーズマーケットへ参加し都心の皆さんに直接ふるさと納税の紹介を行っています。また、JR横浜駅構内JREMALL Caféのイベントに商品提供を行い猪苗代町のふるさと納税の紹介を継続的に行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））suzuki-daisuke@town.inawashiro.fukushima.jp
（電話番号（職場））0242-62-2112

【猪苗代町地域おこし協力隊Instagram】



基本情報



【年 齢】
47歳
【出身地】
新潟県魚沼市
【転出元】
埼玉県戸田市
【前 職】
製造業
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

以前、宮城県石巻市で芸術による震災復興イベントに参加し、その土地に根付いた文化や食材を見つめ直し、地域内外の方に提案・発信するという事に関わりました。それに加えて、パン屋をやりたいという自分の夢の実現を目指して、模索していました。
どこで・どのようににはじめるか。
どのようにしたら地域に根を張れるか。
ひとつの可能性として、地域おこし協力隊を考え、大好きな地である新潟を選びました。

今後の抱負・任期後の目標

パン屋をやります。
ただ、普通のパン屋では勝てないし、興味ありません。
新潟であること、柏崎であること、この土地であることの必然性や可能性と向かい合い、唯一無二のパン屋になれたらと思います。
とはいえ、これも簡単なことではありませんね。
しっかり努力・勉強して、地域に根付いた、負けないパン屋を目指そうと思います。
立派な木造校舎があります。是非、遊びに来てください！

活動内容

●パンの製造・販売

パン屋で修業した経験を生かし、地域の風土・食材を生かして種類豊富なパンを作っています。
作ったパンは喫茶営業に合わせて販売を行っているほか、地域外の施設やイベントでの出張販売を行っています。パンの販売を通じて地域を知ってもらい足を運んでもらうきっかけを作っています。



●木造旧校舎を活用した喫茶営業

地域に残っている木造旧校舎を人が集まる場とするため、毎月第2・4の土日曜は食堂、それ以外の金土日曜は喫茶営業を行っています。
喫茶店営業時には、パンに加え、地元の食材を使ったソーセージのホットドッグと、スペシャルティコーヒーで、地域内外の方をお迎えしています。



●小麦の試験栽培

地域で新しい農産物を栽培する取り組みを行っており、令和5年の秋から小麦の試験栽培を始めました。令和6年6月に初の収穫を迎え、収量が少なめではあったものの品質検査の結果は十分製品化できるものでした。今後は地域の皆さんが中心となり、作付面積を増やして販売を目指していく予定です。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

柏崎市市民活動支援課
(メールアドレス) shien@city.kashiwazaki.lg.jp
(電話番号) 0257-43-9127

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram) https://www.instagram.com/michikusa_betsumata/

基本情報



【年 齢】
54歳
【出身地】
東京都練馬区
【転出元】
東京都練馬区
【前 職】
SE（金融・気象など）
【活動時】
R4.4～R7.3
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

30代の頃から自然の中に身を置いて暮らしたいと思っていました。自然豊かな山の暮らしを地域の方から学び、自分がこれまで経験してきた植物療法にかかわる蒸留や活用方法などの知識や経験を生かして、早川町の豊かな植物資源を地域おこしに繋げていくことができると思い、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

最近全国的に盛り上がっている「クラフトジン」のレシピを考案したり、ハーブガーデンを蜜源とした日本みつばちの養蜂にもチャレンジしたいです。町で暮らしている人達が、交流したり少し癒されたりするようなコミュニティスペースやイベントを企画して、移住してきた私自身が楽しく豊かに暮らしている様子を発信することで、少しずつ早川町のファンが増えたらいいなと思っています。

活動内容

●香り蒸留事業

早川町の豊富な針葉樹や芳香植物を原料として蒸留し、精油、ミスト、など特産品としての商品開発をし、町の特産品、ふるさと納税返礼品への登録をしました。今後は温泉地でもあるので、サウナのロウリュウで使用できるアロマ水や香りの石けん、ご当地コスメなども開発していきたいです。



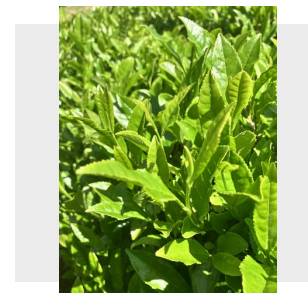
●雨畑ブラックシリカの硯以外の商品開発

良質な硯石としての雨畑真石の伝統文化を守りつつ、高い遠赤外線放射率を持つ特性を活かした硯以外の商品開発、お土産品としてのアクセサリー製造をしています。甲州和紙とのコラボ商品（和紙香水）なども開発しました。



●無農薬の早川町産緑茶・紅茶の普及

早川町には茶畑があり、小規模の製茶工場もあります。無農薬栽培で多くが自家用となっていますが、大変貴重であり、また水が豊かで美味しい早川町なので、町内産の緑茶や紅茶を、美味しいお水で淹れて提供できたり、植物染めやリース作りなどクラフト体験などができるスペースを作っていきたいです。



連絡先

【連絡先】
バーデンガーデン
(作業場所) 409-2727 山梨県南巨摩郡早川町薬袋274
(メールアドレス) baden_garden@nifty.com
(電話番号) 080-7485-1803

基本情報



【年 齢】
31歳
【出身地】
愛知県岡崎市
【転出元】
愛知県岡崎市
【前 職】
ワイン製造
【活動時期】
R5.4～

協力隊に応募したきっかけ

愛知県出身で、愛知県内にワイナリー設立を目標としていた。ワインブドウには冷涼な環境が必要であり、設楽町の駒ヶ原地区は標高900mもあり、ワインブドウを作る環境に適していたため、設楽町の協力隊に。

また、設楽町は名古屋から1時間半圏内という立地とその道中にある自然豊かな景観が魅力的であり、素敵な自然と触れ合える、そんな好立地な場所が気に入って、設楽町の地域おこし協力隊に応募した。

今後の抱負・任期後の目標

ワインブドウができるまで5年かかるので、現在は醸造技術向上のため、講習を受講したり、畑周辺整備や土壌環境を整えている。

現在貸していただいている畑は約8反ほどあり、10年後には自社畑を3ヘクタールまで拡大し、ワイン生産量は1万5千本を目標とし、活動している。

「ぶどうが収穫できるまでまだ時間はかかりますが、美味しいワインを作るので応援していただけたら幸いです！」

活動内容

●畑周辺整備

昨年度からブドウの苗を植え、今年度は約600本の苗を植えた。獣害被害があるため、試行錯誤しながら獣害対策を行っている。



●醸造研修

自身のスキルアップのため、山梨県や長野県に行き、醸造研修に参加している。

また、設楽町で栽培しているブドウはまだできていないが、各地で醸造用のブドウを購入し、実際にワインを製造している。



●ワイナリー設立に向けた活動

設楽町内にワイナリーを設立することが目標であるため、醸造所の開設に向けて活動している。

また、ワインイベントに出店し、ワイン好きの方たちなど今までPRできていなかった方たちに設楽町をPRをしている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(職場)) kikaku@town.shitara.lg.jp
(電話番号(職場)) 0536-62-0514

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

基本情報



【年 齢】
42歳
【出身地】
兵庫県丹波市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前 職】
番組制作
【活動時期】
R4.4～R7.3

協力隊に応募したきっかけ

長らく首都圏に住んで働いていましたが、コロナ禍に入り人と会っての取材が出来なくなり、都会での生活と仕事の限界を感じたことがきっかけです。そこから地方移住を考えるようになり、その過程で松江の地域おこし協力隊制度を知りました。

協力隊がフリーミッションとしての募集であることや、仕事ありきではない形で地域や住民の方々と関わることができるのではないかと思います、応募に至りました。

今後の抱負・任期後の目標

2024年4月（協力隊3年目）にこうじや「甘酸辛苦（かんさんしんく）」を開業しました。

今後は工場を持つべく場所を探し、安定的なこうじの供給に向けて設備を整えていきます。またこうじを提供することで様々な分野の方とコラボして新しい商品を生み出していきたいと思います。私自身、地域としては十数年ぶりの移住者であるため、地域活動や神事などをより理解し、これから住みたいと思ってくれる方と地域とのつなぎ役になれるといいなと考えています。

活動内容

●こうじづくり

松江で100年以上続くこうじやさんに出会い、そのおいしさと発酵のおもしろさに目覚めました。その感動を多くの人と共有したい、こうじ作りの技術を早く身につけたいと思い、「こうじ100本ノック」と銘打って、預かったお米を無料でこうじにしてお渡しする活動を行いました。



●「あまがゆ」商品化

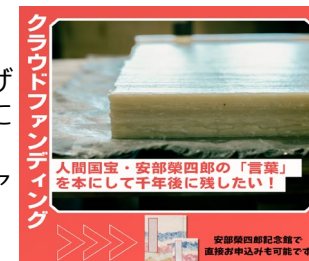
松江のお米を使って「あまがゆ」という名前で甘酒をつくっています。地域の方が親しみのある呼び名を商品名に採用しました。またお茶農家さんとコラボして、フレーバー甘酒を作ったり、OBの方とも連携して野菜や果物を作った甘酒も販売しています。



●出雲民藝紙で和綴本制作

人間国宝・安部榮四郎が作り出した和紙の普及に繋げることとして、今までになかった打ち出し方「千年先に和紙を残す」ための本を作ることを計画。

資金調達と新たなファン獲得を目指し、クラウドファンディングに挑戦、目標金額を達成できました。また、全て手作業で昔ながらの本制作に取り組みました。



連絡先

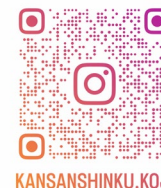
【メディア等の取材連絡先】

メールアドレス（職場）teijukigyuu@city.matsue.lg.jp

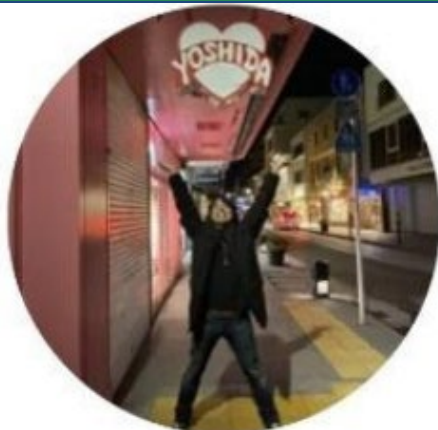
電話番号（職場）0852-55-5215

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram) <https://www.instagram.com/kansanshinku.koji/>



基本情報



【年 齢】
30歳
【出身地】
福岡県北九州市
【転出元】
千葉県千葉市
【前 職】
製造メーカー勤務
【活動時期】
R4.6～R6.11

協力隊に応募したきっかけ

前任者が学生時代からの先輩であり、その方が退任されるタイミングで私に地域おこし協力隊になってみないかと誘われたのが一番のきっかけでした。

元々、先輩が面白い活動をしているなと感じており実際の募集要項を確認したところ、震災復興に関わる内容でした。私が今まで住んでいた地域も地震や台風などの自然災害を受けていたこともあり、他人事のように感じられなかったこと、これからの人生で何か大きな挑戦をしてみたいと思いがあったので応募をしました。

今後の抱負・任期後の目標

現在の竹を活用した事業が、私が掲げた地域創生、環境保全、社会福祉が連動した事業として確立され、私が居なくても長期にわたって持続していけるようにすることです。

その他にも解決したい問題として、今現在、竹や資材の調達など、住民のサポートやボランティアに頼っている部分もあり将来的には事業拡大によって、賃金を払い、正式な仕事として雇用を更に生み出し、地域創生に貢献していきたいと思います。

活動内容

●地域創生、環境保全、社会福祉の3本柱

私は現在、担当地区である真備町の特産物の竹で作られた「竹炭」を使い、地域創生、環境保全、社会福祉が連動した事業の確立を目指して活動しています。

竹炭の消臭・調湿性に着目した建築資材や、食用パウダーへの加工などの試作開発を行い、事業者への営業や、地域イベントへの積極的な参加により、製品の認知度向上と真備町の魅力発信を狙っております。

活動に使用している竹は全て、放置竹林を伐採した物を使用しております。それにより、竹害の抑制や景観保護、新しく綺麗な筍が生える環境の整備に繋がり、全てを無駄にすることがなく一つの循環を生み出すことが出来ます。

また、現在、活動の中でB型作業所と協力して事業化を目指しており、工程の一部をB型作業所に委託することで、雇用が生まれ、障がい者の就労支援につながると考えております。

これまでの成果としては、能登に救援物資として竹炭を送り実際に現地で役立ててもらっている他、他業者からの納品の依頼やイベント参加の誘いなどが少しずつ増えてきているところです。



連絡先

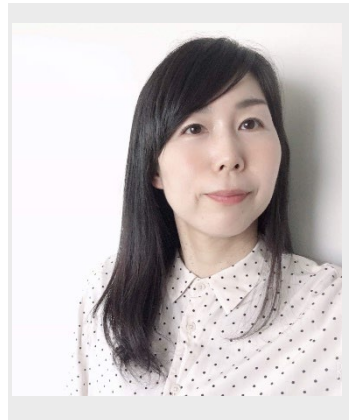
【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(職場)) crcsm2022@gmail.com
(電話番号(個人)) 090-3197-0335

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(インスタ) [https://](https://www.instagram.com/yoshi_masa3/) Q Rコードも可



@YOSHI_MASA3

基本情報



【年 齢】
50歳
【出身地】
埼玉県東松山市
【転出元】
埼玉県東松山市
【前 職】
教育機関法人営業
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

鹿児島県内を拠点として機織り作家活動をしていくことをで計画し、移住地を探していたところ、ふるさと回帰センターのご担当者様から伊佐市でもものづくり工芸部門で協力隊を募集していると紹介を受ける。それまで協力隊というものを知らなかったが調べたところ取り組みたかったことと一致したため応募に至った。

今後の抱負・任期後の目標

織創作活動を通して独自の織生地を制作して和装/洋装に仕立て、伊佐から世界に発信する。日本の織技術を伊佐だけでなく国内外の方向けにもワークショップを行い手仕事の奥深さや民藝芸術を広める。来年度からは自宅工房にて染織教室を開室。技術だけでなく芸術面も感性を磨けるような体験を提供していく。まずは日本民藝展入選を目標に、その後は世界三大織物である大島紬を後世へ繋いでいくための活動をしていくことも視野にいれている。

活動内容

●ものづくり工芸（染織）

8枚綜絢ジャックルーム高機を使用して主に獣毛で手織りを創作する。希少な素材を厳選して使用し、地で収穫した草木使用して染を施し作品を織りあげる。特産品開発。地域、コミュニティ、小中高、病院などで手織りや草木染のワークショップを開催。手仕事ワークショップを通じた地域おこし。



●織りに関したインバウンドツアー企画、実施

昨年の実績として海外の手織りアーティスト向けのインバウンドツアーを企画、実施。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス（個人） aki.tanaka.isakyoryokutai@gmail.com
（電話番号（個人） ） 070-9074-8686

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

（Instagram） <https://www.instagram.com/aki.tanaka.weaver/>